

「越前蟹と水仙の文学コンクール」入賞者大賞作品

テーマ
たからもの

令和4年度 越前蟹と水仙の文学コンクールにおいて、詩部門に436編、俳句部門に3592句の作品が寄せられ、両部門の55人の受賞者が決定しました。
3月4日には、越前コミュニケーションセンターで表彰式が行われ、各賞表彰の後は、両部門小学生の部大賞作品の朗読がありました。



奨励賞

四ヶ浦小学校 四年 荒本 ひなた
朝日小学校 四年 高野 真菜美

佳作

大垣東小学校 四年 齋藤 史明
織田小学校 三年 佐々木 茉莉江
宮崎小学校 五年 山内 勘太郎

俳句部門（中学生の部）

大賞

越前中学校 三年 森下 和太
「水仙は俺の彼女だゆづらねえ」

奨励賞

織田中学校 二年 水島 弘貴
美山中学校 二年 山下 蓮斗

佳作

織田中学校 一年 伊部 泰雅
宮崎中学校 一年 小橋 一仁
越前中学校 二年 山本 一

俳句部門（高校生の部）

大賞

丹生高等学校 三年 重山 大雅
「下口箱に蟹のそばかす映える朝」

奨励賞

丹生高等学校 一年 谷崎 裕太

丹生高等学校

三年 林 美香
丹生高等学校 二年 田中 暁也
丹生高等学校 一年 川口 一希
丹生高等学校 二年 青山 美咲

佳作

丹生高等学校 二年 川口 一希
丹生高等学校 一年 青山 美咲

俳句部門（一般の部）

大賞

東京都練馬区 小林 和子
「聖書から水仙の香の葉かな」

奨励賞

栃木県宇都宮市 亀田 勝則
福井県越前市 山口 美智子

佳作

東京都柏江市 阿部 麻衣
福井県坂井市 津田 道代
福井県越前町 荒井 ゆきゑ

詩部門（小学生の部）

大賞

四ヶ浦小学校 三年 島田 晴翔
「かにとお父さん」

カニのようにになると
ぼくがねているうちに
お父さんはりょうに出かける
次の日の夜は

おきているときに帰ってくる
ぼくはカニのようについて知らない
お父さんは話もしないし
ぼくも聞かない
お父さんはカニも帰ってくるけど
ぼくは食べたことがない
いのちがけでとってきたのは
分かってる
何か言わなきゃいけないのも
わかってる
この気持ち
ぼくのたからもの

おきているときに帰ってくる
ぼくはカニのようについて知らない
お父さんは話もしないし
ぼくも聞かない
お父さんはカニも帰ってくるけど
ぼくは食べたことがない
いのちがけでとってきたのは
分かってる
何か言わなきゃいけないのも
わかってる
この気持ち
ぼくのたからもの

俳句部門（中学生の部）

大賞

越前中学校 三年 田中 莉穂
「家族の大切な水仙」

奨励賞

織田小学校 六年 駒野 以路
朝日小学校 五年 木下 真昼

佳作

清水北小学校 一年 橋本 直樹
朝日小学校 五年 森下 由理
朝日小学校 五年 原美 乃
城崎小学校 三年 淡海 遥香

詩部門（一般の部）

大賞

長野県軽井沢町 牛島 忠弘
福井県福井市 川口 尚美

私の家は水仙農家
水仙は急斜面に咲く
水仙は潮風に打たれて咲く

越前町漁業協同組合長賞

俳句部門（一般の部）

長野県軽井沢町 牛島 忠弘
福井県福井市 川口 尚美

越前町観光連盟会長賞

俳句部門（一般の部）

愛媛県新居浜市 菅 宏史
福井県勝山市 三津谷 和子

（学校名・学年は表彰式当時のものです）

問合せ先 生涯学習課 ☎34-2000



▲詩部門小学生の部大賞の作品朗読

詩部門（高校生の部）

奨励賞

星槎国際高等学校富山学習センター 一年 吉田 茉央
若狭高等学校 一年 山崎 一帆

詩部門（一般の部）

大賞

福井県坂井市 林 恵
「ちよんぼの子」

かわいい かわいい ちよんぼの子
泣いている私をおんぶして 歌うように祖母が言う
ねんねここに包まれユラユラと祖母と私の散歩道
「ほおら、水仙きれいやろお」
一面に咲く水仙は、夕月色に透き通り
岬の風に揺らいでた

かわい い かわい い ちよんぼの子
私の背中で泣く息子
黄昏泣きと言うらしい
私と祖母の散歩道 息子をおぶって歩いてく

「ほおら、水仙きれいやろお」
背中をの寝息を聞きながら、凜と輝く香りを吸う
かわいかった ちよんぼの子
私とつないでいた手を離し 代わりにスマホを握りしめる
雲にはいろんな名前があるのに
彼は気付かず過ごして

俳句部門（小学生の部）

大賞

織田小学校 三年 大川 紗緒里
「水せんの白いかがかやき花たばに」

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

水仙はとていいにおいだ
水仙はみんなのもとに届くだろう
届いた水仙はみんなのたからものになる
だろう
そしてみんなの思い出になるだろう
私にとって水仙は
私を笑顔にしてくれて
私を元気にしてくれる
水仙の一つ一つが一番の思い出であり
一番のたからものだ

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

水仙はとていいにおいだ
水仙はみんなのもとに届くだろう
届いた水仙はみんなのたからものになる
だろう
そしてみんなの思い出になるだろう
私にとって水仙は
私を笑顔にしてくれて
私を元気にしてくれる
水仙の一つ一つが一番の思い出であり
一番のたからものだ

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

水仙はとていいにおいだ
水仙はみんなのもとに届くだろう
届いた水仙はみんなのたからものになる
だろう
そしてみんなの思い出になるだろう
私にとって水仙は
私を笑顔にしてくれて
私を元気にしてくれる
水仙の一つ一つが一番の思い出であり
一番のたからものだ

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

水仙はとていいにおいだ
水仙はみんなのもとに届くだろう
届いた水仙はみんなのたからものになる
だろう
そしてみんなの思い出になるだろう
私にとって水仙は
私を笑顔にしてくれて
私を元気にしてくれる
水仙の一つ一つが一番の思い出であり
一番のたからものだ

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

水仙はとていいにおいだ
水仙はみんなのもとに届くだろう
届いた水仙はみんなのたからものになる
だろう
そしてみんなの思い出になるだろう
私にとって水仙は
私を笑顔にしてくれて
私を元気にしてくれる
水仙の一つ一つが一番の思い出であり
一番のたからものだ

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

水仙はとていいにおいだ
水仙はみんなのもとに届くだろう
届いた水仙はみんなのたからものになる
だろう
そしてみんなの思い出になるだろう
私にとって水仙は
私を笑顔にしてくれて
私を元気にしてくれる
水仙の一つ一つが一番の思い出であり
一番のたからものだ

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹

その水仙をモノレールに乗って刈りに行く
たくさんの水仙を取ってくる
その水仙を洗う おじいちゃん
水仙の長さをそろえる おばあちゃんと
お母さん
それをたばにする お父さんとお姉ちゃん
水仙祭りの時に水仙を運ぶ お兄ちゃん
祭りの店番をする 私とお母さん
店番をしている時みんなに声をかける 妹